

S I P 第 3 期「マテリアル事業化イノベーション・育成エコシステムの構築」 社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更について

令和 5 年 11 月 16 日
マテリアル事業化イノベーション・育成エコシステムの構築
プログラムディレクター 木場 祥介

今般、マテリアル事業化イノベーション・育成エコシステムの構築 においては、研究開発計画の一部変更が生じたため、社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更を行いたい。主な変更点は以下のとおり。

1. Ⅲ. 研究開発計画

- ・「1. 研究開発に係る全体構成」のサブ課題 A「エコシステム形成の為にソフトインフラ整備」において、公募に至るこれまでの議論を踏まえ、スタートアップの発展形態に対応した事業化支援の考え方（第 1 形態～第 7 形態）を整理し、追記。
- ・「3. 個別の研究開発テーマ」のサブ課題 A の研究開発テーマ A(1)「プラットフォームの円滑運用手法の検討」において、マテリアルユニコーン創出のエコシステム形成にはユニコーン予備軍となるサブ課題 C における研究開発テーマ C(1)との密接な連携が不可欠であり、研究開発テーマ C(1)で採択された研究開発課題をマテリアルユニコーンにするための事業化支援の手法を開発するものとして設計、追記。
- ・「3. 個別の研究開発テーマ」のサブ課題 A の研究開発テーマ A(2)「プラットフォーム活用の為に情報発信」は、アカデミア、産業界に幅広く周知を図り、SIP 期間を通じ継続して、ホームページを運用、利活用を進めるための情報発信を行っていく必要があるため、研究推進法人自らで推進する旨を追記。
- ・「3. 個別の研究開発テーマ」において、公募・採択まで完了した研究開発テーマ B(1)、C(1)、C(2)について、「①研究開発目標」「②実施内容」を具体化、「③実施体制」「④研究開発に係る工程表」「⑤予算配分額」を追記。

2. Ⅳ. 課題マネジメント・協力連携体制

- ・公募・採択を受けて、「図Ⅳ-1. 実施体制」を更新、「表Ⅳ-1 サブ PD の担当分担と要件定義」については、サブ課題 A がより踏み込んでサブ課題 A/B/C の横串を果たすこととしたため、プラットフォーム活用担当サブ PD は設置しない方向で整理、PD がエコシステム形成担当(サブ課題 A 担当)サブ PD を兼務し、マテリアル事業化イノベーション・育成エコシステムの構築のためにコミット。

3. Ⅴ. 評価に係る事項

- ・「2. 実施体制」(1) 構成員 (担当・履歴を含む) について、ピアレビュー委員が令和 5 年 9 月 7 日、令和 5 年 10 月 5 日のガバニングボードで承認されたことを受け、追記。

4. 用語統一

- ・「用途特化型モジュール (アプリ)」を「用途特化型アプリ」に統一。

以上